



かほる

学校便り No.19

平成26年11月14日

郡山市立薫小学校

児童数 425名

文責：小林 伸行

自分の思いを言葉に乗せて ～少年の主張コンクール薫地区大会～

「書くことは考えることだ」と言われています。日頃、自分が思っていることについて、じっくりと時間をかけ、文章にまとめてみることは、自分自身の心を大きく成長させる契機ともなるのです。

11月2日（日）、薫公民館で開催された「少年の主張コンクール薫地区大会」において、学校代表として発表してくれた8名の皆さんは、郡山第一中学校の代表生徒4名と共に、国語の授業で学んだ意見文の書き方を生かして、自分の思いをしっかりとまとめて発表してくれました。

言葉によるコミュニケーションの大切さを掘り下げて訴えた発表や、環境問題を含めて自分を取り巻く様々な問題に視点を当ててまとめた発表など、いずれも具体例をたくさん織り交ぜながら自分の主張を分かりやすく展開し、思いや願いが聴き手に伝わってくる素晴らしい発表ばかりでした。

審査の結果、小学校の部の最優秀賞には、「打ち込める事のすばらしさ」のテーマで発表した6年の三浦万結子さんが選ばれました。「合唱と剣道という二つの打ち込めるものを通して、これからも自分自身を更に磨き、輝かせていきたい」との力強い主張が込められた内容でした。自分自身をより高めようと、合唱や剣道の練習に真剣に向き合っている三浦さんの心情と自信に満ちた生き方が、聴き手の心にストレートに伝わってくる発表態度や発表の仕方も見事でした。三浦さんの作品を紹介します。



《発表の緊張感がほぐれて、いい笑顔での表彰式でした！》

打ち込める事のすばらしさ

薫小六年 三浦 万結子



「みなさんは、今、打ち込めるものがありますか。」

十二歳の私は、今、二つのことに夢中になって取り組んでいます。

一つは、合唱です。私が合唱に出会ったのは、今から四年前、小学三年生の春でした。二年生の三月に、あの忘れもしない東日本大震災が起こり、私は、母や弟と共に、泣く泣く祖父母のいる山形へ避難することになりました。転入先の小学校は、合唱部の活動がとても盛んな学校で、NHK全

音楽コンクールの東北大会へ、毎年進む伝統校でした。しかし、先生や先輩方は、とても気さくで優しく、新入部員の私を温かく迎えてくださり、合唱の楽しさを一から丁寧に教えてくださいました。そのおかげで、合唱の練習に打ち込むことができ、震災や転校の不安な気持ちが少しずつ和らいでいきました。

歌うことのすばらしさを知った私は、郡山に戻ってきたときも、迷わず合唱部に入部しました。今の私は、日曜日以外、毎日最低でも二時間、多いときには六時間も合唱の練習をしています。正直、苦しいとか、つらいとか、やめたいと思ったこともありますが、歌うことは、私にとって、

呼吸をするのと同じくらい自然なことで、私の生活になくはならないものになりました。新しい楽譜を手にしたときには、「この曲には、どんなメッセージが込められているのかな」とか、「どんな表現で、聴く人に思いをつたえようか」など、考えただけで、心のエンジンに火がつきます。それから、体力づくりをしたり、曲のイメージについて仲間と意見を交換したり、先生方からご指導をいただいたりすると、私の合唱に対する思いが、どんどん加速していきます。声質や息の流し方、強弱などをそろえ、一つ一つの音がびたっと重なったときには、もう、どこまでも走って行けそうなくらい、爽快な気持ちになります。この瞬間がたまらなくて、私は、毎日練習に励んでいます。



私がもう一つ打ち込んでいるもの、それは、四年生から始めた剣道です。びりっとした空気の中で、ビシビシッとぶつかり合う竹刀の音。りりしい袴姿。一対一の真剣勝負。弟の見学について行ったはずの私は、剣道の魅力にとりつかれ、すぐに入部を決めました。実際にやってみると、袴の締めつけは苦しく、足さばきはなかなか上達せず、注意されてばかり。憧れていた面は、思いのほか重たくて、視界不良。それでも、勝つためのポイントが面、小手、胴の各一点にしかなく、そこを打ちぬいたときの快感は、何事にも勝ってしまうのです。さらに、団体戦における相手チームとの一進一退の攻防や、手に汗握る息詰まった試合の様子は、自分の試合以上に緊張し、とても勉強になります。練習は週に三回。夜遅くまで続きますが、私は休まず参加し、必ず何かを得て家に帰るように心に決めています。



私は、この二つのことに打ち込んでいる自分に誇りを持っています。たとえ、思い通りの結果が得られなくとも、「このままでは終わらせない。次こそが最善」と、自分に言い聞かせ、常に挑戦と努力の姿勢を維持し続けています。それが、今の私の生きる力にもなっているような気がします。

打ち込めるものがあるということは、人生を豊かにします。生きるエネルギーがわいてきます。この先、私が大きな壁に突き当たったとしても、合唱や剣道を通して得た経験がきっと大きな力となり、私の背中をそっと押してくれると信じています。

ふるさと郡山の未来の担い手は、二十一世紀に生きる私たちです。みなさん、打ち込めるものを見つけて、生き生きと、明るく前向きにいらしていきましょう。何かに一生涯懸命打ち込めることは、とてもすばらしいことです。私はこれからも剣道や合唱を通して、仲間と共に、大切な自分を輝かせて行きます。

【郡山市少年の主張コンクール第4回薫地区大会の審査結果】

- | | | | | | |
|--------|----|-------|----|--------|----------|
| ◎ 最優秀賞 | 6年 | 三浦万結子 | | | |
| ◎ 優秀賞 | 4年 | 石田 聖奈 | 4年 | 二文字屋もえ | 4年 榊原 千夏 |
| | 5年 | 和泉 美咲 | 5年 | 丸山 絢音 | 5年 吉井 佳音 |
| | 6年 | 市川 真由 | | | |

トピックス

◇特設体育部、市民体育祭に出場!

11月3日(月)に開成山陸上競技場において開催されました第53回郡山市民体育祭陸上競技大会に、特設体育部の4・5・6年生が出場しました。この1年間の陸上練習の成果を出し切って、たくさん子どもたちが自己新記録を更新することができました。

特設体育部が出場する今年度最後の大会で、子どもたちの素晴らしい活躍を見ることができたこと、うれしく思います。



《どんどん加速して、アンカーにバトンがわたりました!》

- 【総合入賞】 女子4×100MR 総合3位 58秒27
 佐藤 仁香(6年) 高橋 由莉(6年) 永山ひまり(6年) 福富 汐夏(5年)
 5年男子100m 総合4位 伊藤 大翔(5年) 14秒89
 女子走幅跳 総合3位 福富 汐夏(5年) 385cm
 同 総合6位 永山ひまり(6年) 370cm